



広報・PR活動について

— 裾野拡大に向けた取組強化 —



CARATS事務局
平成30年 3月13日

- ◆H29年度の取組
 - ・「オープンデータフォーラム開催結果」を新規追加

H30.3現在

- ・推進協議会
- ・過去開催資料
- ・オープンデータ
- ・オープンデータ入手方法
- ・オープンデータフォーラム
- ・過去開催資料

追加

- ◆今後の取組計画(新規追加予定のもの)
 - ・「CARATSの概要」
(計画や施策内容、これまでの成果を見やすく)
 - ・「オープンデータ」の活用手引き、研究事例、参照先等

今後のイメージ

- ・CARATSの概要
 - ・CARATSについて
 - ・将来イメージ
 - ・これまでの導入施策
 - ・推進協議会について
 - ・ロードマップ
 - ・これまでの研究成果
 - ・パンフレット
 - ・施策集
- ・推進協議会
- ・過去開催資料
- ・オープンデータ
 - ・オープンデータ入手方法
 - ・オープンデータ活用法(手引き)
 - ・オープンデータを活用した研究事例
 - ・改善に係るアンケート(常時募集)
- ・参照リンク先(関連データ)
- ・オープンデータフォーラム
- ・過去開催資料

追加予定

CARATSホームページの活用 ②新規掲載予定のもの ～「これまでのCARATS研究成果」～

I. 目的

航空交通分野の研究開発の裾野拡大に向けて、CARATSの施策実現に貢献したこれまでの研究開発成果のHP掲載を行い、大学をはじめとする研究開発者に情報を発信すること。

II. 選定基準(1及び2を満たすもの)

1. CARATS施策の導入／導入意思決定に直接的に成果が使用された(実用化に寄与した)もの
2. 以下のいずれかを満たすもの
 - (1) CARATSにおいて「主な施策」として位置づけられている施策関連
 - (2) 行政機関が行う研究評価等において社会還元について高い評価を受けたもの
 - (3) 研究開発分科会において選定し、推進協議会で了承されるもの

III. HPへの掲載内容

国土交通省のHP上において、CARATS事務局が運営するサイトに「リスト」と「個票」を掲載 **【資料集⑤】**

ホームページ掲載イメージ

施策名：精密かつ柔軟な出発及び到着・進入方式 (O1-9)・衛星航法による(曲線)精密進入(EN-8) 貢献内容：羽田空港にGBAS(カテゴリーI)を導入(H28.9～) 研究機関名：電子航法研究所(ENRI)	施策名：平行滑走路における監視能力の向上(EN-11) 貢献内容：成田空港の時間値を1時間当たり64回から68回に増枠(H26.3～) 研究機関名：電子航法研究所(ENRI)	施策名：ALWIN(空港低層風情報)の導入(EN-4関連) 貢献内容：羽田・成田空港において空港低層風の観測情報を提供(H29.4～) 研究機関名：宇宙航空研究開発機構(JAXA)
<p>【実現施策の概要】 GBAS(地上型衛星航法補助システム)を導入し、精密進入方式(カテゴリーI)を提供する[2019年度からトータル運用を開始予定(羽田空港)]</p> <p>【成果還元の内容】 ◎進入階段の安全を確保する技術(欧米と異なる我が国独自の電離圏環境で発生する擾乱現象にも対応)が装置に反映され、羽田空港へのGBAS(カテゴリーI)導入を可能とした[2019年:航空局が装置受約、2018年度:装置設置予定]</p> <p>【研究の実施概要】 H20～H23 ・設定課題・目標 GBAS(カテゴリーI)の安全設計技術の開発と検証 ・研究テーマ名 「GBAS導入に伴う安全設計技術とシステム検証の確立」 ・研究実施体制 下記参照</p> <p>【問合せ先】 電子航法研究所 年報 https://www.enri.go.jp/info/enri/enri/enri_index.htm</p>	<p>【実現施策の概要】 ◎空港近傍を飛行する航空機に対して、航空管制官に対してWAMによる高精度・高頻度の航空機位置情報の提供を実現</p> <p>【成果還元の内容】 ◎WAM観測システムを構築して、平行滑走路の同時離着陸運用を想定した検証試験を実施環境で、高精度・高頻度の航空機位置情報の提供を実現 ◎成田空港においてWAM導入による同時離着陸運用を実現し、空港処理容量の増大に寄与[2014.3～航空局にて実運用開始]</p> <p>【研究の実施概要】 H21～H24終了 ・設定課題・目標 高性能WAMの技術確立、実環境性能の検証 ・研究テーマ名 「空港監視技術高度化の研究」 ・研究実施体制 下記参照</p> <p>【問合せ先】 電子航法研究所 年報 https://www.enri.go.jp/info/enri/enri/enri_index.htm</p>	<p>【実現施策の概要】 ◎運航者に対し、進入経路上の低層風インディカタに係る空港低層風の情報を提供を実現。</p> <p>【成果還元の内容】 ◎運航者の協力を得つつ、気象庁とJAXAの共同研究により空港低層風の観測、処理、情報提供を実現</p> <p>【研究の実施概要】 H23～H27終了 ・設定課題・目標 空港低層風の観測・情報提供、運用評価 ・研究テーマ名 「低層風インディカタの観測情報等に基づく航空機安全運航に資する情報の研究開発」(気象庁とJAXA共同研究) ・研究実施体制 下記参照。JAXA実施分はJAXA運営費交付による実施。</p> <p>【問合せ先】 http://www.aero.jaxa.jp/research/star/dreams/weatherinfo/</p>

③その他のPR活動(H29年度の取組状況)

※下線部:新規

→ 「オープンデータフォーラム」の開催、ホームページへの研究事例掲載

○H29年度「CARATSオープンデータフォーラム」開催実績: 新たに企業、施策検討での研究事例を紹介

- 企業での研究事例
 - ①我が国における航空交通流の実態解析及び交通容量の実情推測
 - ②CARATS Open Dataを用いた研究開発
- 大学での研究事例
 - ①悪天を回避する経路の分析
 - ②主要管制地点を母点としたボロノイ図に基づく航空管制のセクター形状最適化
- 施策検討での研究事例
 - ①巡航経路における時間管理性能評価と今後の交通管理の見通し
 - ②CARATS Open Dataを用いた機械学習による軌道予測

→ パンフレット等の活用

パンフレット

○以下のイベントにて配布

- CARATSオープンデータフォーラム
- ENRI主催の国際会議(EIWAC)
- JITI Aviation Seminar 2017
- 国土交通省の採用イベント
- こども霞ヶ関見学デー



(日本語版、英語版)

紹介DVD

- 航空会社の社内研修にて活用
- 国際会議にて紹介

